

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果(深谷小学校)

平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	算数
深谷小	同等	同等
埼玉県	68	62
全国	67.2	62.5

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	深谷小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	96.2	94.4	93.9
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	84.8	83.1	81.0
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	94.9	91.7	90.5
	新聞を読んでいる(週に1回程度以上)	6.4	12.4	12.6
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	89.8	73.4	70.7
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている	87.4	80.9	77.4
	昨年度までに受けた授業で、課題解決に向け、自分で考え、自分で取り組んでいた	83.6	83.0	78.8
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾等で勉強している時間も含む)	55.7	53.7	52.5
教科への関心	国語の勉強は好きだ	83.6	61.6	61.5
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	93.7	94.0	92.8
	算数の勉強は好きだ	83.5	61.2	61.4
	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	95.0	94.1	93.3
	英語の勉強は好きだ	83.5	69.6	69.3
	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う	74.6	54.1	52.5
主体的・対話的な学び	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	83.6	83.0	78.8
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	69.6	68.4	63.7
	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	82.3	79.5	74.4
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた	88.6	84.7	81.8
その他	自分には、よいところがあると思う	89.9	85.6	83.5
	将来の夢や目標をもっている	92.5	82.7	81.5
	人の役に立つ人間になりたいと思う	100	96.3	95.9
	今住んでいる地域の行事に参加している	82.3	56.8	57.8

【質問紙分析】

- ・「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」の割合が、県や全国の割合と比べて高いのは、家庭における学習習慣の確立を低学年の頃から学校と家庭で連携して取り組んできたからだと考えられる。
- ・「国語の勉強は好きだ」「算数の勉強は好きだ」「英語の勉強は好きだ」の割合が、県や全国の割合と比べて高いのは、教師が子供たち一人一人に目を向けて、誰一人取り残すことなく学びに向かう力を育てる授業を日々実践しているからだと考えられる。
- ・「今住んでいる地域の行事に参加している」の割合が、県や全国の割合と比べて高いのは、ふるさと教育の充実により、子供たちが地域への理解を深め、主体的に地域に貢献しようとしているからだと考えられる。
- ・「新聞を読んでいる（週に1回程度以上）」の割合が、県や全国の割合と比べて低いのは、全国的な新聞購読率の減少により、新聞に触れる機会が減ったことが原因だと考えられる。そのため、子供たちが新聞に興味・関心をもてるように、子供新聞やデジタル新聞等を授業で活用していく必要がある。

全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

【国語】

○国語²二

出題の趣旨は「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる」であるが、読むことの指導において、文章と図表などを結び付けて読むことで、内容についてより深く理解できることを実感させたり、複数の資料から必要な情報を見付けるなどの活動を充実させたりしてきた結果だと考えられる。

○国語²四

出題の趣旨は「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」であるが、単元における学習課題を設定し、自分の考えを形成するための言語活動を積極的に取り入れた結果だと考えられる。

●国語¹二

出題の趣旨は「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」であるが、与えられた条件に合わせて、図表やグラフなどから分かったことを基に、書き表し方を工夫することに課題があると考えられる。

●国語¹三

出題の趣旨は「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」であるが、「意外」の「意」を、同じ読み方をする「以」と解答している児童が見られたことから、「意外」や「以外」の意味をそれぞれ正しく理解することができていないと考えられる。

【算数】

○算数⁴（1）

出題の趣旨は「百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる」であるが、百分率で表された割合について、日常生活の場面と結び付けて考えさせたり、図や数直線を用いて視覚的に捉えさせたりした結果だと考えられる。

○算数¹ (2)

出題の趣旨は「伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができるかどうかをみる」であるが、表の見方を丁寧に指導し、伴って変わる二つの数量の関係が比例かどうかを判断する活動を意図的に取り入れた結果だと考えられる。

●算数² (4)

出題の趣旨は「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる」であるが、高さが具体的に示されていない複数の三角形について、それらの面積の大小を判断するのに必要な情報を見だし、その理由を記述することに課題があると考えられる。

●算数³ (4)

出題の趣旨は「(2位数) ÷ (1位数) の筆算について、図を基に各段階の商の意味を考察することができるかどうかをみる」であるが、筆算の仕方は理解しているものの、各段階の商の意味まで正しく理解することができていないと考えられる。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・ 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにするために、それぞれの図表やグラフの特徴や優れている点などについて、他教科と関連して指導していく。また、教師が図表やグラフなどを用いたモデルとなる文章を提示したり、図表を用いる場合には、本文に「図1は、～」、「表1は、～」といった表現を用いて本文との関連を示すことを指導したりしていく。
- ・ 漢字指導においては、文や文章の中で漢字を読むことや、文脈の中での意味と結び付けていくことを繰り返し指導していく。また、本設問にあるような「意外」、「以外」などの同音異義語の言葉を集めたり、漢字辞典を使って漢字の読みや意味などを自分で調べる活動を積極的に取り入れたりして、漢字のもつ意味を考えて使う習慣が身に付くようにしていく。

【算数】

- ・ 三角形の面積を指導する際、一つの面積を求めることに限らず、二つの三角形の面積を比べる活動を取り入れていく。その中で、二つの三角形の底辺の長さが等しいとき、高さの具体的な長さが分からなくても、高さが等しいと分かれば面積は等しいと実感を伴って理解できるように指導していく。
- ・ わり算の筆算の指導する際、筆算の手順を形式的に教え込むのではなく、具体物や図に表したり、式と関連付けたりすることで、筆算の仕組みをしっかりと理解できるようにする。